

公益財団法人森下仁丹奨学会
令和5年度奨学生募集要項

1. 奨学金概要

- (1) 給付月額：3万円（年間36万円 但し初年度30万円(6-3月10ヶ月支給)）
- (2) 給付対象期間:2023年6月より最短修業年限（毎年度末に継続可否の審査を行う。）
- (3) 給付方法：奇数月の10日に2ヶ月分を本人銀行指定口座に振り込む。
10日が休日、祝祭日の場合はその前日に振込む。
- (4) 返済義務：本奨学金は給付型であり、返済義務はありません。

2. 応募資格

以下のいずれの各校にも該当する者

志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な大学生又は大学院生（ただし留学生は除く）

(1) 家計基準

- ・日本学生支援機構第1種に準ずる。

大学院生についても日本学生支援機構の学部生と同等の家計基準を適用する。

※日本学生支援機構等返還を要する貸与型奨学金を除き、他の給付型奨学金との併用不可。ただし授業料の減免又は免除については併用可。

(2) 人物基準

- ・就学の意志が固く、責任感が強く、学生生活全般を通じて態度、行動に良識があり、且つ修業後、社会に有用な人材と為り得る者。
- ・年齢の制限はなし

(3) 健康基準

- ・大学の保健センター、または医師が発行した健康診断書により、就学に支障がないと認められる者。

(4) 学力基準

- ・家計、人物評価を優先し、総合的に判定する。

学部学生	1年生	高校3年間評定値	4.0以上
	2年生以上	前年までに標準修得単位を修得済であり、且つ前年度までの通算GPA値が2.8以上	
大学院生	1年生	前年までに標準修得単位を修得済であり、且つ前年度までの通算GPA値が2.8以上	
	2年生以上	同上	

3. 募集概要

(1) 募集期間

電話申し込み：令和5年1月6日（金）～3月31日（金）

(2) 募集人数：20名程度

4. 応募方法

(1) 希望学生は当会に電話連絡する前に必ず、所属大学又は所属大学院の奨学金窓口と当会奨学金を申し込む旨を相談してください

- ・学力基準は満たしているか
- ・大学からの推薦が受けられるか

(2) 応募学生は当会に電話にて申し込んでください。

(3) 各大学にて複数の応募希望者が発生した場合、大学の奨学金窓口にて1名までに絞っていただきます。

(4) 他の奨学金との併用について、給付型奨学金の併用は不可とさせていただきます。

申込の時点で必ず1つに絞ってお申し込みください。

(5) 応募学生の電話による当会との申し込みが終了した後、下記の4点を記入して当会へ送信してください。

- ① 氏名
- ② ふりがな
- ③ 大学名、学部、学科、4月からの学年（大学院生も同様の項目）
- ④ 願書送付先の大学又は大学院の住所（郵便番号）及び奨学金窓口の正式名

E-mail:shogakkai@jintan.co.jp

5. 提出書類

- ① 奨学生願書:当財団所定様式による
- ② 健康診断:
- ③ 自筆履歴書:市販様式による(写真貼付)
- ④ 推薦調書:当財団指定様式による(大学又は大学院にて推薦者又は担当者が必ず面接をして、ご記入をお願いいたします。)
- ⑤ 調査書又は成績証明書:高校又は大学、大学院の所定様式
- ⑥ 小論文:「私の描く学生生活」について、400字詰め原稿用紙2枚程度(パソコン、自署いづれも可)

6. 提出書類の郵送先及び問合せ先

(1) 郵送先

〒540-0004 大阪市中央区玉造一丁目2番40号
公益財団法人森下仁丹奨学会 事務局 宛

(2) お問合せ先

当財団ホームページの「お問合せフォーム」よりお願いいたします。

※書類到着に関する問い合わせには対応いたしかねます。

到着確認は、レターパック等の追跡サービスをご利用ください。

7. 提出期限

- ・令和5年4月26日(水)当日必着

8. 選考・採用

- ・応募いただいた書類審査の上、選考委員会による審査によって選考し、理事会にて決定する。採用予定者数を超える場合は、経済状況を優先し選考する。
- ・選考結果(採否)は令和5年6月中旬までに大学及び応募者本人宛に採否決定通知を郵送する。

9. 採用者の手続き

(1) 振込先情報

奨学金の振込先金融機関口座情報(本人名義に限る)を所定の方法により、指定する期日までにお送りください。

(2) 確認書(誓約事項及び同意事項)

記載事項を確認し、本人及び保護者等が署名のうえ、指定する期日までに所定の方法によりお送りください。

願書の記入要領

【出願者情報】

- ① ボールペン使用。楷書で丁寧に記入してください。(鉛筆書きは不可)
- ② 4月からの学年を明記してください。
- ③ 大学院生は専攻課程・研究科・前期(又は後期)課程新何年生か等省略せずに記入してください。
- ④ 奨学金給付希望期間は空欄にせず、必ず明記してください。
- ⑤ 本人現住所は郵便番号以下省略せずに明記してください。(カッコ内の該当箇所に○印を付けてください)
- ⑥ 携帯番号・メールアドレスは誤読されないよう正確に記してください。
- ⑦ 実家現住所・電話番号は本人と連絡が取れない場合の緊急連絡(問合せ)先になります。

【家族および所得】

- ① 家計状況を審査する上での重要な項目です。課税証明書等に準じて税込み年収を正しく記入してください。
- ② 年収は下2桁迄記入してください。(例 2.34 百万円 ⇔ 234 万円のことです)
- ③ その他の欄の()には、離婚の場合は(生別)死去の場合は(死去)いずれの場合も氏名欄には記入してください。さらに主たる家計支持者には(○)を記入してください。
- ④ 各欄の※印を精読して記入してください。
- ⑤ 欄中に書ききれない場合は欄外に記入してください。(矢印や線でどの欄かわかるように記して下さい)

【本人の収支状況】

- ① 総収入と総支出が合致する必要はありませんが、入学金と授業料を総支出から差引いた金額は総収入に合致するはずです。
- ② 毎週の収入、支出。毎月の収入、支出を正確に算出することにより、年間の金額の精度が上がります。
- ③ 各欄の※印を精読して記入してください。

【他に受ける奨学金がある場合】

- ① 当会は他の給付型奨学金との併給を認めていません。(貸与型奨学金は認めています)
- ② 他の給付型奨学金に出願される方、出願中の方はご遠慮ください。

【健康診断】

- ① 大学発行の診断書が期日に間に合わない場合は、いつ頃郵送できるか空白欄に記入してください。
- ② 診断書は発行される書式を添付していただければ結構です。

【奨学金を必要とする理由】

- ① 家計の状況、家族の状況等、具体的に記入してください。

【クラブ活動・ボランティア実績 表彰等実績】

- ① 現在又は高校、大学でのクラブ、サークル、ボランティア活動があれば記入ください。
- ② 表彰等の実績があれば記入ください。

【保証人】

- ① 保証人は金銭の貸借に係る債務等の保証ではありません。
- ② 学生の本分である学業の研鑽と、課外活動等による学生生活を通じ、良識ある豊かな人間性を養い、奨学生として採用のうえは、奨学規程を遵守し、在籍中の責務を果たし、奨学金の使途その他において、助言・指導をしていただくことの誓約ですから、その旨を説明し署名捺印を依頼してください。
- ③ 保証人の代筆は認められません。本人の自署・捺印を依頼してください。
- ④ 父母連署や同居兄弟、祖父母等の親族は不可です。
- ⑤ 成年の独立の生計を営む親戚・知人とし、応募者本人の友人は不可です。

【その他】

- ① 2部添付していますので1部は下書控用として記入し、清書して提出してください。
- ② 記入後訂正する場合は修正液等を使用せず、訂正箇所に二本線を引き、認印を捺印の上、上部余白に記入してください。
- ③ 願書には通信文やメモ書きはせず、注釈が必要な場合は別紙を添付してください。

以上

森下仁丹奨学会奨学願書の記入要領

公益財団法人 森下仁丹奨学会 奨学生願書

- 【出願者情報】**
- ①ボールペン(黒色)で丁寧に記入してください(鉛筆不可)
 - ②大学院生は専攻課程・研究科・前期(又は後期)課程が省略せず記入してください。
 - ③学年欄は4月時点の学年を記入してください。
 - ④生年月日年齢は和暦で記入してください。(例:平成・昭和)
 - ⑤奨学金給付希望期間は空欄にせず、必ず記入してください。
 - ⑥本人現住所は郵便番号以下省略せずに記入してください。(カッコ)内の該当箇所に○印をつけてください。
 - ⑦携帯番号・メールアドレスは誤読されないよう正確に記入してください。
 - ⑧実家現住所・電話番号は本人と連絡が取れない場合の緊急連絡(問合せ)先になります。

- 【家族および所得】**
- ①年収は家計状況を確認するために、課税証明書等に準じて税込み年収を記入してください。
 - ②年収は下2桁まで記入してください(例:2.34百万⇒234万円のことです)
 - ③続柄・氏名・年齢・職業・勤務先を正確に記入してください。
 - ④その他欄の()には、離婚の場合(生別)、死亡の場合は(死去)いずれの場合も氏名欄に記入してください。さらに主たる家計支持者には(○)を記入してください。
 - ⑤各欄の※印を精読して記入してください。
 - ⑥欄内に書ききれない場合は欄外に記入してください。(矢印、線でどの欄かわかるように記してください)

- 【本人の収支状況】**
- ①毎週、毎月の収入、支出を算出して、年間の各項目に記入してください。
 - ②年間総収入、年間総支出の合計は合致しなくても構いません。
- ※記入例: 入学金、授業料を年間総支出から差引くと年間総収入と年間総支出は同額になっています。

- 【大学までの所要時間】**
お住まいから大学までの所要時間を記入してください
- 【授業料の減免】**
該当箇所に○してください
- 【他に受ける奨学金がある場合】**
- ①当会以外の給付型奨学金との併給は認めていません。(貸与型奨学金は認めています)
 - ②他の給付型奨学金に出願される方、出願中の方はご連絡

出願者情報		生年月日年齢	
ふりがな	もりした しょうじ	平成	●●年 ▲月 ▼日生 (満18歳)
氏名	森下 奨治	大学名	名東大学
大学院	法学部	院生は専攻課程、前期課程が後期課程か等詳細記入	
学部名	法学部	学年	1年
学科名	法律学科	奨学金給付希望期間	令和5年6月～令和9年3月
本人現住所	〒465-0025 愛知県名古屋市長区上社1丁目2番3号 上社ハイム102号室 (自宅・学寮・下宿・親戚・知人・ アパート)		
本人携帯電話番号	080-1234-5678		
本人メールアドレス	shouji123@mori.ne.jp		
実家現住所	〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造1丁目20番40号 (持家 <u>社宅</u> ・官舎・借家・アパート)		
実家電話番号	06-1234-5678		
家族および所得			
続柄	氏名	年齢	職業 勤務先 年収 その他
父	森下 丹司		百万円 (死去) 平成●●年▲月
母	森下 陽子	50	パート 仁丹薬品(株) 2.34百万円 (○) 年月
※父母が死亡・生別の場合その区分と年月をその他の欄の()内に記入、死亡・生別の場合も氏名は記入			
※主たる家計支持者にはその他の欄の()内に○印を記入			
※農・林・商・工・水産業の年収は確定申告と同額を記入ください。			
同居の兄弟姉妹、祖父祖母等記入欄			
兄	森下 奨一	24	会社員 大阪商事(株) 3.45百万円 (×)
祖母	森下 仁子	80	無職 年金受給 1.56百万円 ()
※同居ではあるが家計独立者にはその他の欄の()内に×印を記入			
本人除く就学者			
続柄	氏名	年齢	在学学校名および学年 通学区分
姉	森下 奨子	22	私立 玉造大学 薬学部 (自宅・自宅外)
家族の年収合計: 3.90百万円(家計独立者除外、配当金・年金・利子・生活援助金等含む)			
※生活援助金は、親戚等からの経済的援助を指す。			
本人の収支状況			
収入(年間)	家庭から 360千円	アルバイト等 348千円	貸与奨学金 480千円
支出(年間)	入学金 250千円	授業料 800千円	年間総収入 1,188千円
	住居費 480千円	水道光熱費 108千円	食費 360千円
	交通費 60千円	通信費 60千円	文具書籍費 120千円
			年間総支出 2,238千円
※収入・支出の算出は、自単位を算出し、その後、年間を算出するなど正確を期してください。			
大学までの所要時間: 分			
授業料の減免: 全額免除 半額免除 免除なし			
他に受ける奨学金がある場合 () (申請中・採用決定) (給付型) (貸与型) 月額 40千円			
名称	日本学生支援機構	期間	令和○○年▲月～令和▼▼年●●月

健康診断			
身長	cm	胸部X線	異常(有・無)
体重	kg	検査所見	(有・無)
栄養状態	良好・普通・要注意	その他の	疾病異常
視力	右()左()	総合所見	
聴力	右(正・難)左(正・難)	尿検査	蛋白 糖 潜血
血圧	/ mmHg	尿検査	() () ()
尿検査	() () ()	既往症	(有・無)
既往症	(有・無)	医師名	⑧
奨学金を必要とする理由			
私の家庭は父が他界してから母のパート収入と祖母の年金受給で生計を立てています。祖母が高齢で少し介護が必要な為、母はフルタイムで働くことができません。長兄は既に働いており、援助を受けていますが、仕事の関係で到着しており援助にも限界があります。加えて姉が私立大学に通っているうえに、私が自宅外通学となったので、一層家計を圧迫することになりました。私は出来るだけ家計の負担を少なくしたいので、アルバイトで生活費を補う予定ですが、学業を優先し少しは課外活動にも参加したいので限界があります。つきましては、是非奨学金の給付を受けたく、何卒奨学生としてご採用下さるようお願いいたします。			
スポーツ・クラブ活動・ボランティア実績		表彰等実績	
○高校バスケット部副主将 県大会準優勝		ピアノ全国コンクール入賞	
公益財団法人 森下仁丹奨学会 理事長 殿			
以上の通り相違ありません。			
貴財団の奨学生としてのご採用をお願いいたします。			
令和 ●●年 ▲月 ■日			
本人氏名 森下 奨治 ⑧			
上記の者、貴財団の奨学生としてご採用の上は、奨学生として在学中の義務を果たさせ、奨学金の使用等その他規程に従い、私共において連帯の責任を負うことを誓約いたします。			
令和 ●●年 ▲月 ■日			
保証人	氏名	森下 仁子 ⑧	
(父母又はこれに代わる者の自署)	住所	大阪府大阪市中央区玉造1丁目20番40号 続柄(母)	
保証人	氏名	奨学 太郎 ⑧	
	住所	大阪府枚方市津田山手2丁目11番1号 続柄(叔父)	

- 【健康診断】**
- ①診断書は医療機関から発行される書式を添付していただければ健康診断欄に記入の必要はありません。
 - ②大学発行の診断書が期日に間に合わない場合は、いつ頃郵送できるか空白欄に記入してください。

- 【奨学金を必要とする理由】**
- ①家計の状況、家族の状況など具体的に記入してください。
 - ②記入欄に書ききれない場合は別紙添付していただいても構いません。
 - ③家族に障害者がいる場合は、障害の程度と介助の程度を詳述してください。

- 【スポーツ・クラブ活動・ボランティア実績及び表彰等実績】**
- 過去及び現在の活動状況を記入してください
- ①高校、大学でスポーツ、クラブ活動、サークル活動、ボランティア活動について役職・役割や活動内容を具体的に記入してください。
 - ②表彰等の実績があれば記入ください

- 【保証人】**
- ①保証人は金銭の貸借に係る債務等の保証ではありません。
 - ②学生の身分である学業の研鑽と、課外活動等による学生生活を通じ、良識ある豊かな人間性を養い、奨学生として採用のうえは、奨学規定を順守し、在籍中の義務を果たし、奨学金の使途その他において、助言・指導をしていただくこと誓約すから、その旨を説明し署名捺印を依頼してください。
 - ③保証人の代筆は認められません、必ず保証人本人の自署、捺印を依頼してください。
 - ④父母連署や同居兄弟、祖父祖母等の親族は不可です。
 - ⑤保証人の1名は成人であって独立の生計を営む親戚・知人とし、応募本人の友人は不可です。

- 【その他】**
- ①2部添付していますので1部は下書き控えとして記入し、清書して提出してください。
 - ②記入後訂正する場合は修正液等を使用せず、訂正箇所二本線(====)を引き、訂正印を捺印の上、上部余白に記入してください。
 - ③願書には通信文やメモ書きはせず、注釈などが必要な場合は別紙を添付してください。

公益財団法人 森下仁丹奨学会 奨学生願書

出願者情報						
ふりがな	生 年 月 日 年齢					
氏名	年 月 日生 (満 歳)					
大学名	院生は専攻課程、前期課程か後期課程か等詳細記入					
学部名						
学科名						
学年 (4月時点)		年				
奨学金給付希望期間	令和 5 年 6 月 ~ 令和 年 月					
本人現住所	〒 (自宅 ・ 学寮 ・ 下宿 ・ 親戚 ・ 知人 ・ アパート)					
本人携帯電話番号						
本人メールアドレス	@					
実家現住所	〒 (持家 ・ 社宅 ・ 官舎 ・ 借家 ・ アパート)					
実家電話番号						
家族および所得						
続柄	氏 名	年 齢	職 業	勤 務 先	年 収	そ の 他
父					百万円 () 年 月	
母					百万円 () 年 月	
※父母が死亡・生別の場合その区分と年月をその他の欄の()内に記入、死亡・生別の場合も氏名は記入						
※主たる家計支持者にはその他の欄の()内に○印を記入						
※農・林・商・工・水産業の年収は確定申告と同額を記入ください。						
同居の兄弟姉妹、祖父祖母等記入欄						
					百万円 ()	
					百万円 ()	
					百万円 ()	
					百万円 ()	
					百万円 ()	
※同居ではあるが家計独立者にはその他の欄の()内に×印を記入						
本人除く就学者						
続柄	氏 名	年 齢	在学学校名および学年		通 学 区 分	
					(自宅 ・ 自宅外)	
					(自宅 ・ 自宅外)	
					(自宅 ・ 自宅外)	
					(自宅 ・ 自宅外)	
家族の年収合計: 百万円 (家計独立者除外、配当金・年金・利子・生活援助金等含む)						
※生活援助金とは、親戚等からの経済的援助を指す。						
本人の収支状況						
収入(年間)	家庭から	円	アルバイト等	円	貸与奨学金	
	その他	円				
						年間総収入
						円
支出(年間)	入学金	円	授業料	円	食費	
	住居費	円	水道光熱費	円	文具書籍費	
	交通費	円	通信費	円		
						円
※収入・支出の算出は週・月単位を算出した後、年間を算出するなど正確を期してください。						
大学までの所要時間: 分						
授業料の減免: 全額免除 半額免除 免除なし						
他に受ける奨学金がある場合 (申請中・採用決定) (給付型・貸与型) 月額 円						
名称	期間	年 月	~	年 月		

健康診断			
身長	cm	胸部X線	異常(有・無)
体重	kg	検査所見	
栄養状態	良好・普通・要注意	その他の	(有・無)
視力	右()左()	疾病異常	
聴力	右(正・難)左(正・難)	総合所見	
血圧	/ mmHg	令和 年 月 日	
尿検査	蛋白 糖 潜血 () () ()	医療機関名	
既往症	(有・無)	医師名	㊞
奨学金を必要とする理由			

スポーツ・クラブ活動・ボランティア実績		表彰等実績	
公益財団法人 森下仁丹奨学会 理事長 殿			
以上の通り相違ありません。			
貴財団の奨学生としてのご採用をお願いいたします。			
令和 年 月 日			
本人氏名 ㊞			
上記の者、貴財団の奨学生としてご採用の上は、奨学生として在学中の義務を果たさせ、奨学金の使用等その他規程に従い、私共において連帯の責任を負うことを誓約いたします。			
令和 年 月 日			
保証人 氏名 ㊞			
(父母又はこれに代わる者の自署)		住所	
		続柄()	
保証人 氏名 ㊞			
		住所	
		続柄・関係()	

公益財団法人 森下仁丹奨学会 奨学生推薦調書

氏 名						年	月	日生	
大 学 名								大学・大学院・修士課程・博士課程	
学部学科 研究科名								年度入学	年次
入 試 成 績 ①			総 合 判 定 ②	学業 成績	A	優	秀		
得 点	本 人				B	水	準	以	上
	最 高								
入試 席次	最 低			奨学金の必要 程度	A	絶	対	必	要
	本 人	位	B		必	要	要		
	入 学 者	人 中							
入試成績が非公開の場合はその旨この欄に記入。									

- ① 入試成績は公表の場合記入してください。
 ② 総合判定は大学所定の基準に従って○印を付してください。

【調書記入者〔面接担当者〕】 職名	氏名	(認印)
奨学生希望者面接の上、下記の通り所見を記します。		

公益財団法人 森下仁丹奨学会 理事長 殿

当学生は心身健全・成績優秀でありながら学資に困窮しており、貴会の奨学生として適當の者と認め推薦します。

年 月 日

大 学 名 _____
 学長・学部長 _____
 または推薦者 _____

公印 役職印のご捺印をお願い致します。

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次										
		_____課程			_____大学院			_____研究群			_____年次	
	学籍番号								性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)
	フリガナ									家族住所	〒 _____ TEL (_____)	
氏 名												
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称			給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額	
		父				年				万円	万円	
		母					年				万円	万円
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
							年				万円	万円
							年				万円	万円
							年				万円	万円
							年				万円	万円
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別		通学別	控 除 額	
本人					筑波大学	国立	/		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無		/							
	障害者がある世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()							
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定					
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()				総収入金額		① 万円			
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()				必要経費		② 万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()				特別控除額		③ 万円			
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()				総所得金額		④=①-②-③ 万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人		
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円		
	修得単位数または科目数						家計充足率		⑥=④÷⑤×100			

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。